



このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまのご信任を賜り、引き続き2期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。

改めて、その責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであり、これからの4年間、皆さまからのご期待にしっかりお応えできるよう決意を新たにするとともに、全力を傾注して、職務を遂行していかねばならないと実感しております。

1期目就任後に策定した、第2次総合計画中期基本計画におきましては、「少子化・超高齢社会や人口減少への対応」と「新たな価値の創造」を重点施策に掲げ、全ての市民が輝き、明日への夢や希望が持てるまちづくり、そして、本市ならではのひとときを輝くまちづくりに向けた施策を推進

してまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中におきましては、市民の皆さまの暮らしを守るための生活支援策や地域経済対策に力を入れてまいりましたが、この誰も経験したことのない困難に立ち向かうため、前例に固執することなく、斬新な発想を持ち、市民の皆さまの命と健康を守るため、切れ目のない支援を継続してまいりました。

さて、これからの4年間ですが、左記に掲げる6つの施策方針に基づき、本市の魅力を高める未来への価値ある投資を行うとともに、第2次総合計画中期基本計画の検証を確実に、次期である後期計画にしっかりとつなげていきたいと考えております。

私は、市長に就任以来、ご年配の方はもとより、子どもたち、孫たちの未来のために、この富岡に生まれ、育ち、学び、働き、そして、住んで、心から良かったと思える、「住みたいまちナンバーワン・富岡」の実現のため、若さと体力、そして、リーダーシップをモットーに全力で走り続けてまいりました。

これからも本市の魅力向上と全ての市民の未来のため、そして、「住みたいまちナンバーワン・富岡」の実現に向け、初心を忘れることなく、市民の皆さまの声を取り入れ、市民の皆さまのための市政運営を行いながら、誠実さを信条とし、その歩みを着実に前へ進めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 榎本市長 2期目初登庁

4月25日、市民や後援者、市職員などの温かい拍手に迎えられ、2期目の初登庁式が行われました。任期は令和4年4月23日～令和8年4月22日の4年間です。



## 今後4年間の施策方針

### 暮らしやすい健康なまちづくり

- ▶子育て支援の充実 ▶保健・子育て・健康づくりの拠点整備 ▶高齢者支援の充実 ▶乗合タクシー「愛タク」の利便性向上

### 地域経済の活性化

- ▶地元企業支援と製造業をメインとした企業誘致 ▶副業人材活用の推進、ふるさと納税を活用した交流人口の増加 ▶工業団地の継続的な開発 ▶新規就農への支援の拡充 ▶吉田地区土地改良事業の推進 ▶富岡製糸場や妙義山を活かしたマイクロツーリズムの推進 ▶妙義ふるさと美術館のリニューアル ▶歩くまち(ウォーキング)走るまち(ランニング)乗るまち(サイクリング)登るまち(クライミング)をPR ▶崇台山・神成山のトイレ環境の改善

### 安心で充実した生活環境の整備

- ▶上州富岡駅北地区再整備の推進 ▶公民館単位による円卓会議の推進 ▶全地域の自主避難計画の策定 ▶もみじ平総合公園遊具のリニューアル、スポーツ施設の拡充 ▶富岡製糸場保存活用の継続、魅力発信 ▶中高瀬観音山遺跡の適正な保存(事業内容を精査して規模縮小) ▶市民文化芸術活動の推進 ▶高校生等の入院無償化 ▶公共交通(上信電鉄)定期券購入費助成 ▶進学支援金給付(新型コロナウイルス対策)

### 学校教育の充実

- ▶本市でしか受けられない教育の創出 ▶外国人教師による特色ある英語教育・プログラミング教育の充実 ▶ICTを活用した学びの実現(小・中学校ICT支援員派遣) ▶英語検定助成制度の創設 ▶小・中学校の適正規模適正配置は地域の意見を聴きながら進める

### SDGsの推進

- ▶2030年までの17の国際目標達成に向けた積極的な取り組みの推進 ▶脱炭素へ向けた事業支援 ▶中心市街地など持続可能な社会資本整備 ▶誰一人取り残さない社会の実現

### デジタル化の推進

- ▶LINEを活用した乗合タクシー「愛タク」予約サービスの拡充 ▶オンライン申請、行政手続きガイドシステムの導入 ▶スマートフォン教室の開催 ▶キャッシュレス化の推進

